

主な記事

- 平成18年度予算 2
- 人材育成研修事業 6
- 残留農薬ポジティブリスト制度 7
- まちの話題 8
- 市民の広場 18

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

ひびき

HIOKI JOURNAL APR.2006



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)
 総人口 52,668人(494)
 男 24,541人(288)
 女 28,127人(206)
 世帯数 21,990 (140)
 4月1日現在()は前月比

市の面積 253.05km²
 (江口浜海浜公園一部埋立完了)
 に伴う面積増: 0.03km²

今月の表紙



鈴の音響かせ春の訪れ告げる
 色鮮やかな花飾りをした二頭の鈴掛け馬を先頭に、はっぴ姿の踊り連や宮路高光市長、ミスひおきも参加。温泉街を中心に練り歩き、訪れた多くの見物客を楽しませました。(4/9 東市来湯之元)



11 平成18年4月号

発行/日置市役所
 総務企画部企画課
 〒899 2592
 日置市伊集院町第一丁目100番地
 TEL 099(273)2111
 FAX 099(273)3063
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

わが地域



会長 下野 勝芳さん

上和田自治会(吹上地域)

郷土愛に満ちた元気な清流の里

和田地区公民館を構成する七つの自治会の一つ。吹上支所から南東へ約四キロ、近くに金峰山を見上げる集落に六十七世帯、約百四十人が暮らします。集落内を東から西へ堀川の清流が流れ、川に沿うように通る集落の通りはサルスベリが植樹され、花だんには四季折々の花々が咲く、自然環境の美しい集落です。



▲ 敬老会は手づくりのソーメン流しておもてなし

自 分たちの地域は自分たちで興そうと郷土愛に満ちた者であふれています。その筆頭に上げられるのが青壮年部組織「清流会」。小学校の存続と地域の活性化のために、集落に子どもたちを増やそうと、早くから出身者に帰郷を呼びかけたり、町にミニ団地の建設を働きかけたり。おかげで

現在、小学生七人、幼児七人と、地区内でも子どもたちの多い集落です。
地 域の環境整備にも積極的に取り組む、サルスベリロードのほか、堀川にアユやカワニナを放流。美しい清流にはカニやエビも生息し、夏にはホタルも乱舞します。高齢者クラブを中心に子ども会育成会も一緒になっての花だんづくりは、四季を通して花が絶えず、町の花だんコンクールでは金賞の常連となっています。
高 齢者の生きがいづくりや健康づくりにも早くから取り組み、自治公民館を拠点とした、いきいきサロン「上和田おしゃべりサロン」は今年で四年目。毎月一回、手芸教室や健康体操、健康講話、レクレーションなど内容も充実しています。三月の中旬には「上和田にこにこウォーキング」



▲ 公民館近くの立石橋(石橋)には、毎年こいのぼりが

大会も開催、大勢の参加がありました。
特 に史跡などはない地域ですが、清流会では今、堀川に残る伝説の岩(奇岩)に注目しています。夫婦岩と金峰山の神様が飛び降りた足跡が残るといいますが、清掃や看板づくりに取り組んでいます。
 婦人部も自治会の催しのたびに踊りを披露してくれたり、緑の下の力持ちで支えてくれるなど、集落のそれぞれの組織が連携したまとまりは、どこにも負けない地域づくりの原動力です。

これが最後の編集たいむ。一年足らず。取材・編集・入稿を毎月、繰り返す仕事はあつという間でした。十年ぶりの広報マン。合併という初体験の職場環境やエリアが広がったこともあり、少しとまどいも。でも新しい環境のなかで取材を通して大勢の人に出会い、顔を覚えてもらえたことは幸せなこと。快く取材に応じていただいた皆さん本当に感謝です。今月から新天地で初めての係に挑戦です。▼環境が変わりまもないこの時期、人間関係がうまくいかず精神的に不安定な人はいませんか?でも人生はすべて人との出会いから始まり、決して一人では生きていけません。その出会いが人生を大きく左右することも少なくありません。気持ちを切り替え、出会いを楽しみに頑張りましょう。▼今年度の広報マンです。広報紙の発行を心待ちにしていただけのような編集に努めていきたいと思えます。広報紙に対してどしどしご意見をお寄せいただくと助かります。▼どうぞよろしくお願ひします。



平成18年度 市の予算

一般会計 241億3,960万円
(前年度比△8.8%)
特別会計 200億2,632万円
(前年度比△9.6%)

平成18年度予算が3月議会定例会で決まりました。一般会計は前年度より約23億円少ない241億3,960万円。
第一次市総合計画を基本に日置市の一体感を醸成しながら、合併効果を実感できるまちづくりを進めるための大切な予算です。その概要と主な事業をお知らせします。
*平成17年度は年度途中での合併だったので、前年度予算は年間予算見込額(推計額)で比較。

自主財源三割 依存財源七割 市税は全体の15%

国の三位一体改革推進による地方交付税の減額、国庫補助事業の縮小や廃止などにより、財源確保が非常に厳しい状況となっています。

一方、市が自ら賄えるお金で、自主財源(二八・九%)とよばれるもののうち、最も多いのが、皆さんから納めていただく「市税」で、前年度より一・六%増の三十六億一千三百六十二万七千円(一五・〇%)を見込んでいます。次に多いのが各基金からの「繰入金」で全体の八・三%を占めています。

次に使われるお金である「歳出」を目的別に下のグラフからみてみます。「民生費」がトップで四十九億八千六百六十三万三千円と全体の二〇・六%を占めています。

市民一人当たり約六万九千円を負担 市民一人に約四十五万八千円使われる

市の予算は大きい単位で分かりにくい人もいるかと思いますが、四月一日現在の住民基本台帳人口で、市民一人当たりで換算してみます。

歳入のうち「市税」を市民一人当たりで換算すると、六万八千六百一十一円負担していただくこととなります。内訳は、全体の五三・五%を占める「固定資産税」がトップで三万六千七百五十円、以下「市民税」の二万五千二百九十九円(三六・九%)、「市たばこ税」の四千三百八十六円となっています。

次に歳出をみてみます。市民一人当たりに使われるお金は、総額で四十五万八千三百三十五円となります。最も多いのが前述したように「民生費」で九万四千

に進められます。次に多いのが道路整備や住宅建設整備、公園整備などに使われる「土木費」で全体の一六・九%です。

皆さんから納めていただく税金と、事業などに使われるお金では一人当たり三十八万九千七百二十四円の差があります。この不足額の大部分が「地方交付税」や国や県からの支出金などから賄われていることとなります。

このように非常に厳しい財政状況になりますが、限られた財源を最大限に生かすために、経費の一層の節減合理化と全体的な事務事業の見直しを継続しながら、資金の重点的、効率的な配分に努め、積極的なまちづくりを進めていきます。

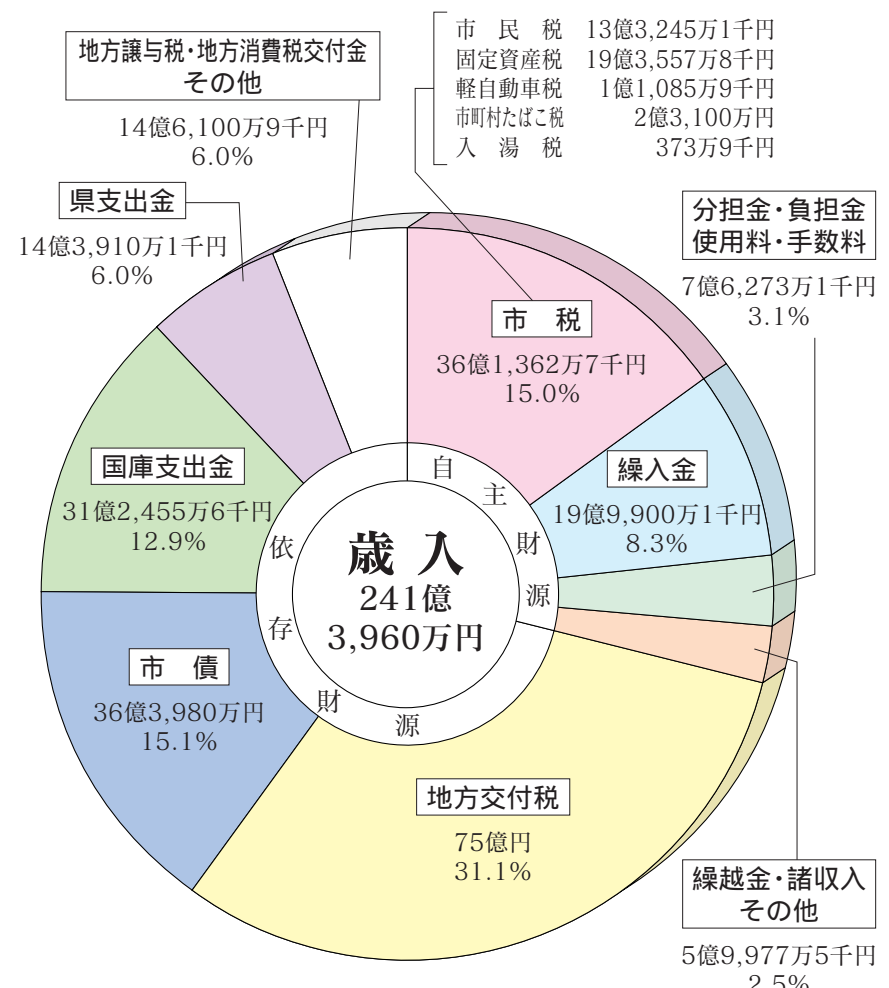
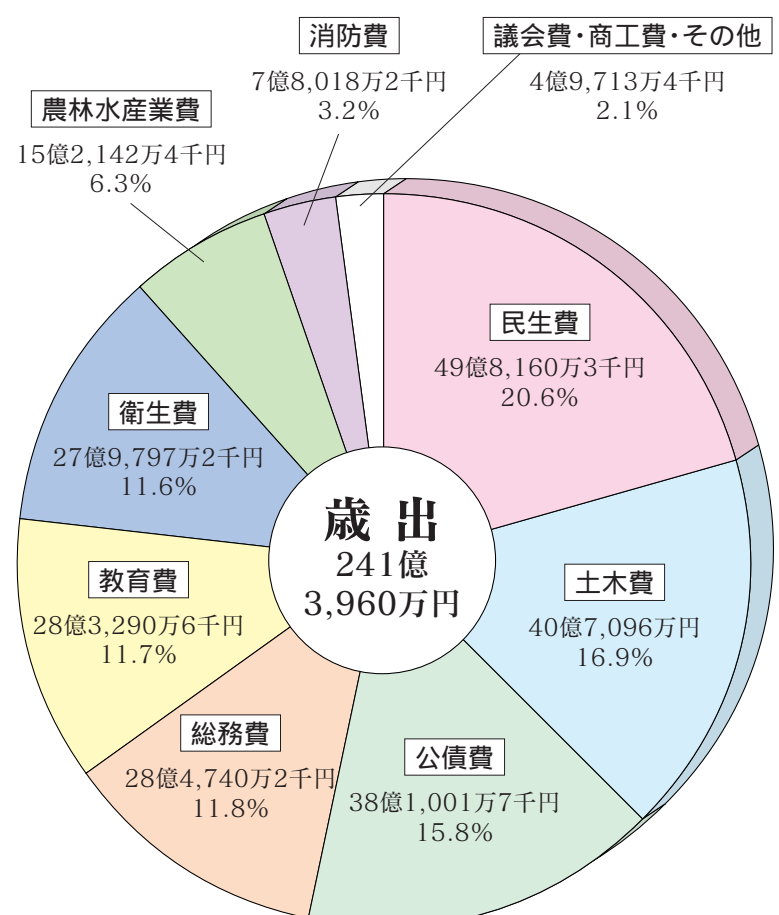
特別会計予算

国民健康保健	57億4,907万6千円
老人保健医療	87億4,687万9千円
特別養護老人ホーム事業	3億892万2千円
公共下水道事業	5億3,231万円
農業集落排水事業	4,463万1千円
国民宿舎事業	2億8,629万8千円
国民保養センター及び老人休養ホーム事業	1億6,576万3千円
温泉給湯事業	566万5千円
公衆浴場事業	1,053万3千円
飲料水供給施設	68万2千円
住宅新築資金等貸付事業	916万4千円
介護保険	41億6,639万4千円

企業会計予算(収益的事業)

国民健康保険病院事業	3億8,095万3千円
水道事業	7億6,382万1千円

市民1人に使われるお金 総額 458,335円	
民生費 94,585円	土木費 77,295円
公債費 72,340円	総務費 54,063円
教育費 53,788円	衛生費 53,125円
農林水産業費 28,887円	消防費・議会費・その他 24,252円



市民1人が負担する税額 総額 68,611円	
固定資産税 36,750円	市民税 25,299円
市たばこ税 4,386円	軽自動車税 2,105円
入湯税 71円	

(前頁より) (単位:万円)

新規就農・後継者育成事業費	2,485
森林整備地域活動支援事業費	1,616
畜産基盤再編総合整備事業	4,203
中山間地域等直接支払交付金事業費	5,807
農道等施設整備事業費	5,791
物産館増築整備事業費	3,221

商工費

イベント補助事業	1,223
商工業振興費	3,155
キャンプ村管理運営費	367
さつま湖公園管理費	434
江口浜海浜公園管理費	651

土木費

がけ地近接危険住宅移転事業	1,607
道路新設改良費	127,768
道路維持管理費	7,058
まちづくり交付金街路整備事業費	21,386
河川維持管理費	1,746
住宅建設費	75,457
公営住宅維持補修費	1,350
公共下水道事業	21,921
公園管理費	1,838
土地区画整理事業	119,333
特殊地下壕対策事業	480

消防費

消防施設整備費	3,533
消防本部費	62,391
非常備消防総務管理費	8,437
防災行政無線費	1,673

教育費

体育施設費	70,266
外国青年招致事業費	2,005
自治会育成交付金	6,837
自治会活性化補助金	3,115
小学校建設事業費	10,665
小学校維持補修費	2,302
中学校建設事業費	2,180
中学校維持補修費	1,272
文化事業費	2,355
埋蔵文化財費	4,005
図書館用図書購入費	1,720
社会教育指導員費	3,227
成人教育事業費	708
青少年教育事業費	799



▲子育て支援事業を充実させます

次世代育成支援行動計画に基づき、妊婦検診の無料受診の拡充や乳幼児医療費助成の自己負担限度額引き下げによる制度の充実を図るなど、子育て支援に努めていきます。

保育所建設や延長保育の実施など保育内容の充実を図ります。

老人保健福祉計画や介護保険計画を策定し、計画に基づいた総合的な高齢者福祉施策を推進します。

各地域での保健推進体制の充実を図り、病气や介護に対する予防事業を積極的に進め、きめ細かい質の高い保健サービスの提供に努めます。

保険・医療福祉の充実



乳幼児医療費助成制度を充実

教育・文化の充実



▲建設の進む伊集院ドーム(伊集院総合運動公園)

小中学校施設の整備を計画的に進め、教育環境の整備を図るほか、「のびゆく塾事業」を市全域に拡大し、子どもたちの学力向上に努めます。

市内すべての地区公民館に社会教育指導員を配置し、公民館を拠点にした生涯学習活動、地域づくり活動の強化充実を図ります。

青少年海外派遣事業やふるさと学寮を継続し、心身ともに健やかな、時代を担う青少年の育成に努めます。

文化会館や文化交流センターの自主事業を充実させるとともに、体育施設の計画的な整備、吹上浜一帯の自然環境を生かした施設を中心に、合宿を中心とした利用促進に努めます。

確かな学習の定着のために
四地域に学習支援を拡大
(月一回土曜日に開設)



▲整備の進む徳重地区区画整理

国道・県道の整備については継続的な事業促進を図られるよう要望し、生活に密着した道路網の整備を計画的に進めます。

徳重地区および湯の元第一地区の区画整理事業や紙屋敷・中園・新宮住宅の整備など、住環境整備を促進します。

伊集院地域の「ゆすいんバス」を充実させ、他の三地域と同じように百円バスとして運行し、市内の周遊性を高めるような路線を検討していきます。

学校や公民館など公共施設を光ファイバーでつなぐイントラネット整備事業を進めます。

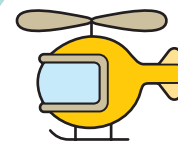
水槽付ポンプ自動車の購入や防火水槽の設置など防災設備と、ロードミラー等の交通安全設備の整備を図り、安全なまちづくりを進めます。

社会基盤生活環境の整備



市内の公共施設を
光ファイバーで結ぶ

産業経済の振興



▲産地化をめざすソリダゴ(キク科の花)栽培

農業基盤の整備として、活動火山周辺地域防災対策営農事業やかごしま園芸タウン産地整備事業、県営中山間地域総合整備事業、農林道整備事業などハード面の整備を進めるほか、新規就農・後継者育成事業などを推進します。

江口浜海浜公園整備事業や漁港整備を進めます。

各種イベント補助事業を継続し、地場産業や商工業の育成に努めるほか、風情ある温泉街の整備やサービス向上による集客力向上のための組織を立ち上げ、商工会と連携しながら観光振興を図ります。

上倉地区や高山地区の体験交流を拡大するなどモデル地区を選定し、都市との交流による観光農業を確立していきます。

ソリダゴのハウス設置
無人ヘリの導入

当初予算の主なもの

総務費

コミュニティバス事業費	3,288
国際交流員招致事業費	1,055
県議会議員選挙費	650
国際交流事業費	214
姉妹・友好都市交流事業費	215
地域イントラネット基盤施設整備事業	76,700

民生費

はり・きゅう等施術費助成金	838
高齢者タクシー運賃助成金	634
ひとり親家庭医療費助成金	1,674
児童手当支給事業	24,141
重度心身障害者医療費助成金	12,624
介護予防・生きがい活動支援事業費	9,510
障害者補装具給付事業費	2,252
身体障害者施設事業費	20,665
身体障害者居宅事業費	2,677
特別障害者手当	2,136
生きがい活動支援通所事業	1,393
生活支援ハウス運営事業費	1,485
地域子育て支援センター事業費	1,301

衛生費

ウミガメ保護監視員設置事業費	286
クリーンリサイクルセンター運営費	38,912
塵芥処理事業費	16,335
乳幼児医療費助成金	3,313
がん検診等事業	4,329
健康づくり推進対策事業費	413
健康診査費	2,992
子育て支援事業費	579
母子健康診査事業費	1,733

農林水産業費

かごしま園芸タウン産地条件整備事業費	1,999
活動火山周辺地域防災営農対策事業費	8,928
稲作生産システム確立推進事業費	692
漁港建設費	4,036
県営かんがい排水事業費	10,515
県営中山間地域総合整備事業費	7,005
県営土地改良事業費	10,145
元気な地域づくり事業費	1,008
江口浜海浜公園整備事業費	2,400

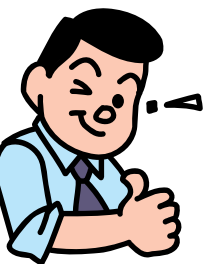
(次頁へ)

人材育成 研修事業

公益的な目的をもって個人や団体で、地域活性化などのための調査研究や先進地視察を実施し、積極的な自立経営や近代的な取り組みを目指す人や、将来の活動が期待できる人に対して、その積極的な研修活動等を支援します。

人づくり

あなたの意欲を応援します



対象事業

- ① 国、県またはその他の公共機関等が実施する事業に参加する場合
- ② 公益的目的をもって独自で先進地（海外含む）を視察研修する場合、または地域活性化等のための調査研究などを行う場合

対象者

- ① 小学校、中学校、高等学校または大学（短期大学を含む）に在学する成績優秀な児童、生徒または学生であつて、研究意欲がおう盛である者
- ② 農林漁業従事者で、自立経営農林漁家として他の農林漁業者の模範となり、リーダー的立場にある者または今後、自立経営を目指す者
- ③ 商工業従事者で、経営の合理化または研究によって近代的経営を営み、他の商工業者の模範となり、リーダー的立場にある者または今後近代的商工業を目指す者
- ④ 各種の団体またはグループにおいて、その目的達成に尽力し、貢献度が高く若しくはリーダー的立場にある者または今後類似の活動が期待できる者

補助金額

補助対象経費の十分の七以内の額とします。ただし、国内研修については十万円を上限とし、国外研修については三十万円を上限とします。

補助対象経費は、受講料、参加費、宿泊費、交通費などの経費で、土産代や懇親会費用、食糧費などは含みません。

手続き・その他

申請は、随時受け付けますが、事業実施決定など各種手続きを含め、事業実施日の三か月前を目安に申請書を提出してください。

① 申請者が団体に属する場合は、当該団体の推薦が必要になります。

② 事業実施の決定については、選考委員会により決定します。

③ その他、事業実施の詳細については「日置市人材育成研修事業補助金交付要綱」をご確認の上、手続きしてください。

提出先・お問い合わせ先

日置市役所総務企画部総務課
日置市伊集院町郡一丁目一〇〇番地

☎099(273)2111

*各支所地域振興課においても受け付けますので、お問い合わせください。

農薬散布にご用心

農産物に残留する農薬の規制対象を一気に拡大する「残留農薬ポジティブリスト制度」が、食品衛生法の改正で五月二十九日から導入されます。

これは農薬等が一定量を超えて残留する農産物等の流通を原則として禁止する制度で、農薬散布にはこれまで以上の注意が必要になります。その概要と対策についてお知らせします。

食の安全を守るポジティブリスト

これまでは、残留基準が設けられていない農薬は、残留量にかかわらず規制されませんでした。

この制度では、今まで残留農薬基準値がない農薬にも、「人の健康を損なう恐れのない量」として〇・〇一 ppm という低い数値が基準値として設定され、農産物に付着する農薬のほとんどに個別の残留基準が〇・〇一 ppm という一律基準が設けられます。

この基準値を超えた農産物は出荷停止や回収ということにもなりかねません。

不用意な農薬散布はやめて

自分の散布した農薬が飛散して隣の農家に迷惑をかけたり、また他人の農地から飛散した農薬で迷惑を被ることも予想される農薬散布は、これまで以上に気をつけなければなりません。

散布する場合、その旨を周りの栽培者に伝えるなど、日ごろからコミュニケーションをとり、地域の農家同士の連絡を密にすることが求められます。

飛散を抑える 対策を



飛散をできるだけ減らすように、工夫して散布しましょう。

◎ 散布量が多くなりすぎないように気をつけましょう。

◎ 散布は必要最小限の量と区域で行うようにします。

◎ 風の弱い時に、風向きに気をつけて散布しましょう。

◎ 風下に別の作物があるときは特に注意が必要になります。

◎ 散布の方向や位置に気をつけて散布しましょう。できるだけ作物の近くから、作物だけにかかるように散布します。農場の端での散布は外側から内側に向けて行います。

◎ 細かすぎる散布粒子のノズルは使わないようにし、散布圧力を上げすぎないようにしましょう。粒子が細かいほど、また圧力を高めるほど、飛散しやすくなります。

販売禁止 のおそれも

◎ タンクやホースはきれいに洗っておきましょう。しっかり洗わないで使用すると、以前使用した農薬が、登録のない作物から基準値を超えて検出されることがあります。

もし、飛散が起こってしまったら、すぐに周りの栽培者に知らせるとともに、関係機関に相談しましょう。

相談や制度の詳しいお問い合わせ先は次のとおり。

・日置市役所本庁 ☎273・2111 および各支所農林水産課

・日置農業改良普及センター ☎273・3111

・JAさつま日置中部営農センター ☎273・2124 および各営農センター

〇・〇1ppmってどれくらい？

残留農薬基準は、通常1kgの農産物あたりに残留する農薬の量の限度(mg)として「ppm」という単位で表されます。

ppmとは、parts per million の頭文字をとったもので「百万分の一」のことです。〇・〇一 ppmは「一億分の一」になります。

◆ 1 ppmは1kgの農産物の中の1mg(千分の一g)に相当します。

◆ 〇・〇一 ppmは1kgの農産物の中の〇・〇一mg(十万分の一g)に相当します。

ベトナム
視察団

母子保健活動を視察
熱心に意見交換

2月22日、ベトナムの医師や女性団体の代表などが、東市来保健センターを訪れ、同センターで実施していた1歳6か月児健診などの取り組みを視察しました。

一行は、日本の妊産婦と乳幼児の健康支援策を学ぼうとするもので、母子手帳の交付から妊産婦への指導助言、健診などについて担当の保健師から説明を受けた後、幼児の身体測定や歯科健診、育児相談を見学しました。

また、母子保健推進員、保健師との意見交換会もあり「開業医と行政との連携は?」「ボランティアの研修の手段は?」など熱心に質問していました。



おもしろおかしく田植え劇
笑いの渦に包まれる

稲荷神社
お田植え祭

春の訪れを告げる「お田植え祭」が3月3日、湯之元の稲荷神社であり、肌寒い天候にもかかわらず市内外から大勢の人が詰め掛け、境内を埋めました。

この祭りは、二百年以上も前から行われているもので、水田をかたどった土俵ぐらいの広さの場所で、テチヨ役(亭主)・カカ役(妻)・オンジョ役(父親)による田起こしや田植え休憩の茶飲みの様子を鹿児島弁でおもしろおかしく演じる即興劇が人気。役者の一挙一動に、境内は和やかな笑いの渦に包まれました。

このほか、五つ太鼓やひょっとこ踊りなども披露され、今年一年の五穀豊穡と無病息災を祈りました。



アジアはおまかせ
3か国の文化を学ぶ

鶴丸小
総合的な
学習

2月22日、鶴丸小学校の3年生から6年生の児童(116人)が総合的な学習として、韓国・中国・マレーシアの文化を学び、ゲームなどを楽しみました。

講師は、南さつま市国際交流員の申森さん(中国)と日置市国際交流員のザカリア・ビン・ムスタファさん(マレーシア)、成希哲さん(韓国)の3人。3人はそれぞれ、自国の文化を紹介しながら、日本との生活習慣の違いなどを話し、児童は興味深そうに聞き入っていました。

また、中国の「鷹と鶏のゲーム」や韓国の「おたまじゃくしの踊り」を一緒になって楽しみました。



NPO江口浜ビーチ
サービスが、「きれいな
観光地づくり」で表彰
観光まごころ県民運動

観光まごころ県民運動推進会議(会長 伊藤祐一郎県知事)による「観光まごころ県民運動」シンポジウムが、二月十五日に鹿児島県庁で開催され、東市来地域のNPO法人「江口浜ビーチサービス」(西村浩二代表)が、美化清掃運動部門で「きれいな観光地づくり」表彰を受賞しました。

同法人は、平成十五年から定期的に江口浜周辺の環境整備活動を行っているほか、海岸清掃後のゴミを入場料とするユニークなコンサートを実施しており、観光かごしまのイメージアップに大きく貢献していることが認められたものです。



吹上の亀原工業団地に(株)アイ・ケー・フーズが進出 新市初の企業立地



吹上地域の亀原工業団地に(株)アイ・ケー・フーズ(資本金二千万円、岩切武夫社長)の進出が決まり、三月十六日に市中央公民館で立地協定書の調印式がありました。

調印式には県企業立地推進室の駒路和典室長が立会い、宮路市長と岩切社長がそれぞれ協定書に署名、押印、お互いに固い握手を交わし、今後の発展を期しました。

創業60周年を機に創業地に新工場建設

(株)明興テクノス

平成十二年に旧伊集院町と立地協定を締結していた(株)明興テクノス(本社・鹿児島市、資本金五千万円、山ノ内文治社長)が、昨夏から清藤工業団地に建設していた新工場「明興テクノフロント目置工場」が完成し、三月十七日、同工場で落成式がありました。

貫してできる県を代表するメーカー。山ノ内青治会長が昭和二十一年に伊集院町で創業したのが始まりで、創業六十周年を記念する創業地での新工場建設となりました。



北地区 森林公園 遠行

春の息吹の中 植樹や木工を楽しむ



伊集院町北地区公民館の子ども会育成会が主催する「目置森林公園遠行」が三月四日にありました。子どもたちの親ほくを深め、体力づくりと自然に親しむ機会をと行われている行事で今回十三回目。小学校の遠足が終わったばかりとあって例年より参加者は少なかつたものの、上神殿公民館を出発して森林公園までの約二・五キロの坂道を、道路沿いのゴミを拾いながら元気よく歩きました。

ずっと植えていた桜の植樹は今年が最後。園内に丁寧に植えました。植樹の後は、市役所農林水産課の指導で木工に挑戦。バードウォッチングなどに使われる、鳥を呼び寄せるための道具「バードコール」を、保護者も一緒に作りました。工作にそれほど時間はかからず、中には参加できなかった友達の間までと何個も作る子も。早速、園内でバードコールを鳴らし、鳥を呼び寄せるなど、すっかり春めいた一日を楽しみました。

伊集院の味と香りをPR

伊集院物産展

三月一日から一週間、鹿児島市の山形屋デパートで伊集院物産展が開催されました。伊集院地域で生産される特産品や農産物の宣伝販売を促進し、新たな販路拡大、地場産業の振興を目指すもので、今回が二十七回目。今年も十三店舗が参加、店頭には商品が所狭しと並べられました。毎年、楽しみにしている常連客も多く、特にふくれ菓子は入荷するのを待つ人がでるほどの人気。



待望の公民館完成

猪鹿倉公民館落成式



猪鹿倉公民館が完成し、三月五日に落成式が行われました。この館は、公民館にはめずらしい鉄骨構造で、室内はバリアフリーとなっております。昨年三月から計画、建設費は約三千四百万円。市からの補助金のほか、たぐさんの資金が住民から寄せられました。式の中で、山口徳二自治会長は「関係者の協力により立派な館ができてうれしい。これから住民と共に活用していきたい」と感謝の言葉を述べました。



▲体験発表をする前之園さん

生涯学習は 生きがいきづくり まちづくり

伊集院地域
生涯学習
フェア



あこがれの海外での生活、自分の目で見た外国の街や人の様子、ホストファミリーとのふれあいを振り返り「多くの感動や驚き、共感や疑問など、さまざまな体験や価値観の違いに触れ、視野の狭い世界を持つていた自分に気づかされた。広い視野を持つてるように、多くの経験を積み、世界や日本を

三月十八日、伊集院文化会館で生涯学習の取り組みと生きがいきづくり、まちづくりを考える伊集院地域生涯学習フェアがありました。中央図書館のボランティアグループ「ぐりとぐら」の影絵を使った紙芝居で始まり、青少年海外派遣事業に参加した伊集院高校二年生の前之園沙織さんがイギリスでの語学研修やファミリーステイの体験を発表。



▲シンポジウムに参加した尾堂さん、濱田さん、四元さん(左から)

多くの面から見られる人になりたい」と話しました。

また「生きがいきづくり・まちづくりを考える」と題してシンポジウム。尾堂栄文さん(上土橋)が棒踊り保存会の取り組みを、濱田代津子さん(妙円寺六区)が高齢者学級・高齢者クラブの活動を、四元美紗さん(徳重東)が婦人会活動の子育て支援やボランティアの取り組みをそれぞれ発表。生きがいきづくりやまちづくりへの参加は、自分のまわりの課題をどうやって解決していくかであり、それは生涯学習の取り組みと密接にかかわっていることを確認しました。

ロビーであった生涯学習講座の作品展示や図書の無料配布も好評でした。

チームワークで二大会連続の優勝

吉利バレーボール少年団

二月二十六日にあった第二十回鹿児島県小学生バレーボール送別大会（Cパート）と、三月五日にあった第八回鹿児島県小学生バレーボール新人大会（Bランク）で、吉利バレーボール少年団（内村友治監督・団員22人）が二大会連続の優勝を果たしました。



▲送別大会

勢いそのままに、選手と応援がひとつになつてのストリート勝ち。卒業間近の六年生にはうれし涙の優勝となりました。

一方、新人大会はいちき串木野市体育館で開催され、宮川（鹿児島）と石谷（鹿児島）との予選を一セットも落とさず、決勝トーナメントへ進み、かいもん（揖宿）との準決勝をストリート勝ちし、決勝戦へ。決勝戦では隈之城（薩摩）に一セット取られたものの、粘りと元気が身上のチームワークにより、優勝の栄冠に輝きました。



▲新人大会

同少年団は、創部二十六年目を迎え、現在、吉利・日置・日新小から二十二人の団員が集まり、週三回の練習に励んでいます。体力・技術の向上はもちろん、あいさつ・礼儀などのマナーや、たくましさ・思いやりの心を身につけられるように取り組んでいます。

関係者は「日ごろの練習の成果が発揮でき、吉利・日置・日新小の選手および指導者、育成会が一体となったチームワークで、大きな感動を得ることができた」と喜んでいました。



▲卒団写真

長年、花を育ててきた功績 日吉中学校に感謝状

伊集院警察署 感謝状



三月十三日、日吉中学校の全校朝礼で、伊集院警察署長より、同中学生徒会へ感謝状が贈られました。

これは、中学校近くの日吉駐在所にある「ふれあい花園」で、一年を通して四季折々の花を育て、環境美化に貢献してきたボランティア活動に対するもの。同中では十年を超える長い間、丹精込めて花を育て続け、田代巡査部長や田淵巡査長はもちろん、駐在所を訪れる地域の人の目を楽させてきま

した。

生徒会長の古垣寿子さんは「今回の表彰は、今まで十年以上にわたり、先輩や先生方が続けてきた功績によるもの。私たち生徒会もしっかりと伝統を受け継ぎ、これからも光り続けていきたい」と元気にお礼の決意を述べました。

同中では海岸清掃や市役所支所付近の清掃、老人ホームへの慰問など一年を通して、伝統的にボランティアに取り組んでいます。

商工会青年部主催による第三十回日吉町公民館ソフトバレーボール大会が三月十九日、開催されました。

日新、草原、熊野、南区、中区の五公民館から参加した十三チームに日吉バレーボール協会、商工会青年部の二チームが加わり、一般の部、女子の部に分かれ、熱戦を展開しました。

一般の部の優勝は草原公民館Bチーム、準優勝は熊野公民館チーム

ム、第三位は日新公民館AチームとBチームでした。

また、女子の部では優勝が熊野公民館チーム、準優勝が草原公民館チーム、第三位が南区公民館チームでした。

日ごろの運動不足がたたり、足が動かず、目の前に落ちるボールを歯がゆい思いで見つめて悔しそうにする顔、それを見てやじを飛ばす応援団、笑いの絶えない楽しい一日となりました。

応援団のやじに 笑いが絶えず

公民館対抗 ソフトバレーボール 大会



万感を胸に旅立ち

日吉中学校卒業式

三月十四日、日吉中学校第三十四回卒業式があり、男子三十一人、女子三十四人が中学校三年間のさまざまな思い出を胸に、卒業証書を手に入れました。

合併後初めての中学校卒業式に、宮路市長も出席。校長先生から卒業証書を一人一人受け取る姿を見



て「子どもを取り巻く状況はいろいろなが言われているが、卒業生のりっぱな姿に大変頼もしい感じがした。また地域の多くの方々卒業式に出席され、一緒に祝福をしていることに大変感動している」とお祝いの言葉を添えられました。



三月十四日、日吉老人福祉センター（大ホール）にて日吉町戦没者追悼式が開かれ、遺族や一般市民、各団体代表など百五十人が参列。戦没者を悼み出席者全員で献花を供えました。



吹上に春呼ぶまつり

船こぎ祭り・たじまごん・もちひつぱれ

春の農繁期の前に、吹上地域の各所で、さまざまな豊作祈願のお祭りが行われました。

もちひつぱれ・三月二十一日

小野自治会では、集落にある奥神社の春祭りが行われました。「もちひつぱれ」は、神前にお供えしたもちのお下がりや、田の神様の前で五穀豊穡を願ひ引つ張り合う行事。

もちひつぱれば、二〇秒ほどの棒状のもちを口で引き合います。もちの伸び具合に応じて、押したり引いたり。負けると食べられない

この勝負だけは負けられない



船こぎ祭り・三月十九日

上田尻の船木神社では、猿田彦

▲邪気を払う「3回回ってワン」

命が海上安全の重責を果たしたという伝説にちなんだ「船こぎ祭り」が行われました。

この祭りは、大小五十隻の模型船が宝殿を出港。円陣を組んだ氏子らによって境内の海を航海し、再び宝殿へと返されるものです。奉納されている模型船は日置市誕生記念の新造船から、江戸時代のものまで、スタイルも多様です。

境内をうめた八十人は、模型船を「エンヤオー」の櫓拍子とともに目の前で三回ずつ繰り返し回して、隣の手に手渡ししていきました。祭りが終わるころ、神社周辺では田植が始まりました。

またこの日、伝統芸能の刀踊りも十二年ぶりに復活。高校二年生から八十一歳まで九人が、勇壮に舞い、祭りに花を添えました。踊り手は「不思議と体が覚えてくるもの」と息を弾ませながら、伝統を継承できたという満足げな表情を見せました。

たじまごん・三月二十一日

東宮内の大汝牟遅神社では、豊作を祈願する牛と鼻取の珍妙な田園劇「たじまごん」が奉納されました。

▼勇壮に復活した刀踊り



船こぎ祭り

農夫が田に見立てた境内で、畦を築こうとしますがはかどらず、土ならしに牛を呼びます。が、この牛が思うに任せません。見物人は病虫害を払うというヤツデの実を竹筒で吹きかけ、牛を促しますが、砂をまきちらし激しく抵抗します。

やがて暴れた疲れた牛が退場。神官がモミをまき、無事、秋の豊作

▼とほけた農夫の愉快なやりとり



たじまごん

を願うことができました。参加者には無病息災のご利益があるトツノコ(小さなおにぎり)が振る舞われました。

▲働かない牛に竹筒でヤツデの実を

▲模型船を繰り返し「エンヤオー」

伊作スポ少堂々準優勝!!

第32回県ちびっこソフトボール大会



▲準優勝した伊作ソフト団員 (写真提供 岩城修さん)



県下220チームが参加して三月五日から、鹿児島市と日置市で開催された第32回鹿児島県ちびっこソフトボール大会で、伊作ソフトボール少年団が堂々準優勝を果たしました。

伊作は今大会屈指の女子エース、中野さんを擁し、組織力とスピードある攻撃で一回戦を圧勝、波に乗り、順当に駒を進めます。準決勝までの7試合で62得点、2失点と投打ががちりかみ合って決勝へ進出。過去三回の優勝を誇る大崎と対戦しました。決勝は、両者譲らず迎えた5回裏、伊作が望みの先取点を奪い3点を先行。が、直後の6回表、大崎の猛攻を受け、1点差のまま時間切れゲームセット。しかし、県大会準優勝の快挙は、団の歴史にしっかりと刻み込まれました。

親子の絆で全国表彰

和地区子ども会育成会

和地区子ども会育成会が社団法人全国子ども会連合会から表彰を受け三月八日、伝達されました。

この表彰は、同会が長年にわたり地域で子どもを育むという地道な活動に取り組んできたことが評価されたものです。一日こころから子どもが小、中、高助け合いながら一生懸命活動しています。それを親として手助けしているだけです」と、同会の下野照男さん。

先輩が伝え後輩が学びあう。和地区の気負いのない活動が評価されたといえます。



▲受賞を喜ぶ育成会員

からいも交流・春

台湾や韓国など、4人の交流生が三月十二日から二週間滞在。地域や学校でさまざまな体験や交流を行いました(写真は永吉小)。



会うことは元気の確認作業

吹上ハリケーン倶楽部まちづくり講演会

まちづくり講演会が三月四日、吹上砂丘荘で開かれ、地域づくり団体関係者五十人が参加しました。講師はKTSのタレント、タマリさん。「合併してもまちが輝くために『いい加減』な地域づくりが大切」「こうして会うことは元気の確認作業。顔を合せて元気を分け合い、高めあおう。自らの経験をもとにした軽妙な語り口で「人間好き」を強調。活動が停滞しつつあった吹上ハリケーン倶楽部や会員に、大きな示唆を与えてくれました。



▲元気な口調が会員に元気を与えます

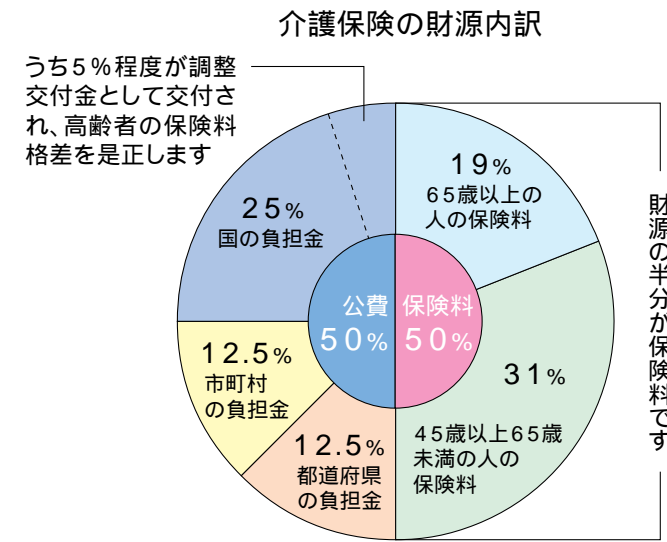


還暦記念植樹

今年還暦を迎えた旧伊作中同窓生がその記念にと、ふきあげ図書館の公園に桜を植えました。

介護保険料を見直し

基準額が **3,880円** に **↓** **3,980円**

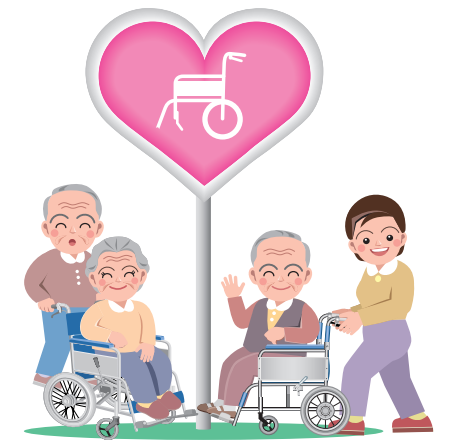


介護保険制度が始まって6年が経過します。介護保険制度は、老後生活最大の不安要因ともなっている介護を、社会全体で支えあっていくことを目的としてつくられたものです。

第1号被保険者（65歳以上）の保険料は、3年ごとに見直されますが、今回、平成18年度から20年度までの3年間の保険料が決定しました。

65歳以上の方の保険料は、その人の所得や世帯の住民税の課税状況によって決まります。所得の低い被保険者などの負担能力に応じ、よりきめ細やかな対応ができるように保険料段階が6段階になります。

なお、平成18年度の保険料は、8月に送付します介護保険料額決定通知書をご確認ください。



おめでとう

本庁 3月受付分(敬称略)

(出生児)	有村奈々美	(保護者)	義伸	(自治会)	桑畑
(出生児)	谷口優士朗	(保護者)	康博	(自治会)	朝日ヶ丘
(出生児)	西村綾香	(保護者)	和彦	(自治会)	川畑
(出生児)	能勢雄大	(保護者)	直樹	(自治会)	瀬戸内
(出生児)	中村路佳	(保護者)	和人	(自治会)	妙円寺2区
(出生児)	迫田貴虎	(保護者)	亮	(自治会)	駅前
(出生児)	鮫島岬	(保護者)	誠	(自治会)	妙円寺5区

東市来支所

(出生児)	福原廉	(保護者)	淳一	(自治会)	駅前
(出生児)	小松杏寧	(保護者)	淳	(自治会)	城之町
(出生児)	木村真依	(保護者)	誠一	(自治会)	駅前
(出生児)	永野龍神	(保護者)	仲也	(自治会)	元湯
(出生児)	永野あんな	(保護者)	仲也	(自治会)	元湯
(出生児)	草野菜々未	(保護者)	勝徳	(自治会)	皆田西
(出生児)	飯牟禮総士	(保護者)	忠幸	(自治会)	麓上

吹上支所

(出生児)	成田遥海	(保護者)	拓馬	(自治会)	多摩ヶ丘
(出生児)	安部まりあ	(保護者)	直人	(自治会)	緑ヶ丘
(出生児)	和田愛音	(保護者)	圭一郎	(自治会)	西本町
(出生児)	長野虹	(保護者)	邦康	(自治会)	南湯之元

本庁 3月受付分(敬称略)

(故人)	永田和樹	(享年)	70	(自治会)	麦生田西
(故人)	吉田彩華	(享年)	70	(自治会)	飯牟礼上
(故人)	健一治正	(享年)	70	(自治会)	市来
(故人)	上中之里	(享年)	70	(自治会)	徳重東
(故人)	新山マリ枝	(享年)	70	(自治会)	麦生田東
(故人)	並松フミエ	(享年)	70	(自治会)	竹之山
(故人)	谷口洋子	(享年)	70	(自治会)	上神殿上
(故人)	東ソヨ	(享年)	70	(自治会)	平古
(故人)	松山信義	(享年)	70	(自治会)	竹之山
(故人)	前村砂雄	(享年)	70	(自治会)	上神殿上
(故人)	濱島幸生	(享年)	70	(自治会)	平古
(故人)	福元辰矢	(享年)	70	(自治会)	竹之山
(故人)	脇正行	(享年)	70	(自治会)	中神殿
(故人)	内愛熊	(享年)	70	(自治会)	つじヶ丘1区
(故人)	下玉利照盛	(享年)	70	(自治会)	中川
(故人)	宇都シヅエ	(享年)	70	(自治会)	桑畑
(故人)	重留サヨ	(享年)	70	(自治会)	四郎園
(故人)	四郎園良紀	(享年)	70	(自治会)	四郎園
(故人)	重水ハツカメ	(享年)	70	(自治会)	梅木
(故人)	鮫島照	(享年)	70	(自治会)	田代東
(故人)	末原タミ	(享年)	70	(自治会)	田之湯
(故人)	池田雅江	(享年)	70	(自治会)	元湯

吹上支所

(故人)	新川勲	(享年)	82	(自治会)	杉之迫
(故人)	宮前ヒデ	(享年)	82	(自治会)	駅前
(故人)	久保久子	(享年)	82	(自治会)	向湯田
(故人)	原田キクエ	(享年)	82	(自治会)	向湯田
(故人)	下池勲	(享年)	82	(自治会)	上野西
(故人)	大久保信義	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	野崎榮次	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	二之宮ツユ	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	北貞夫	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	前屋敷正徳	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	山内繁盛	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	古垣學	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	松元茂	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	中辻國義	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	馬場フクマツ	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	榎木シヅエ	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	市園健二	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	松元美芳	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	月野ハツエ	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	戸越隆作	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	内村キサ	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	山之内弘	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	坂口幸子	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	野原秀子	(享年)	82	(自治会)	上野東
(故人)	柳田ノブ	(享年)	82	(自治会)	上野東



募集中! 5/25まで 日置市 マレーシア親善大使

吹上町マレーシア交流実行委員会では、マレーシアとの友好親善を深めるために派遣する親善大使を募集します。常夏の国マレーシアは、心と心の国際交流が体験できるとても親日的な国です。あなたもその生活や文化交流を体験してみませんか。

【期間】 平成18年8月19日(土)～8月26日(土)泊8日

【対象】 日置市内に居住する国際交流に関心のある方

【定員】 中学生4人、高校生または一般4人程度

【参加費用】 費用の80%を上限に助成

【募集要項】 ※パスポートの取得など個人経費は自己負担
参加申込書と応募の動機をまとめた作文(400字詰め原稿用紙2～3枚程度)を提出してください。

【募集締切り】 平成18年5月25日(水)

※詳しくは、交流実行委員会事務局または市役所本庁・各支所まで

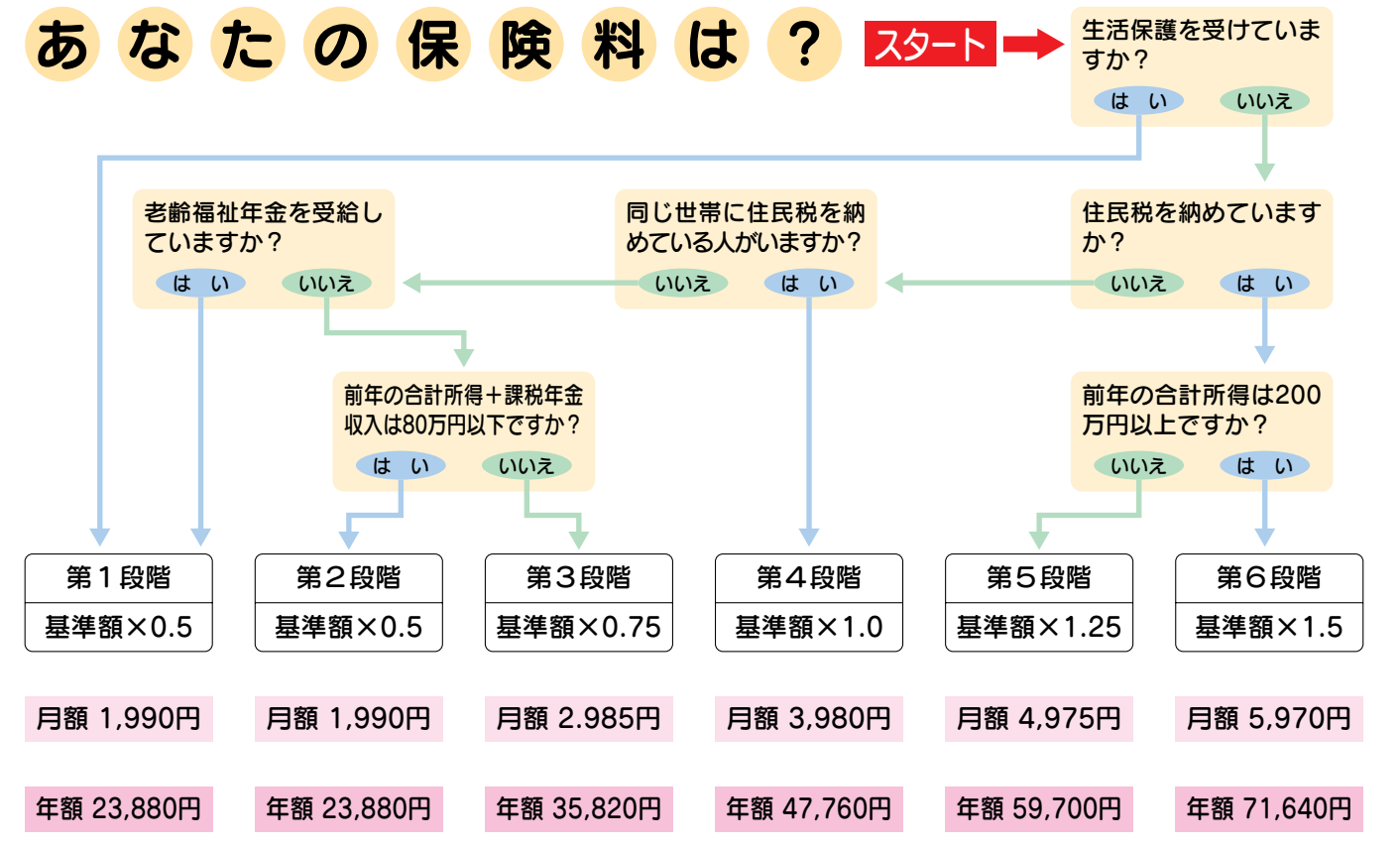
【応募先】または【問い合わせ先】

本庁企画課企画調整係
電話 099(273)2111

東市来支所地域振興課自治振興係
電話 099(274)2111

日吉支所地域振興課自治振興係
電話 099(292)2111

吹上支所地域振興課自治振興係
電話 099(296)2111





ギョウワロー 私の作品展

「洋裁」

山口 節子さん (67歳) 伊集院町猪鹿倉

お気に入りの服を着ているときは気分もウキウキします。ゆったりとした着心地の服を手づくりしたら、楽しみも増すのではと思い、オリジナルの服を考えてみました。素材選び、パターンづくりから縫製加工まで講師の指導助言をいただきながら、着やすく動きやすい服が完成。できあがりの喜びと感動が大きな原動力となり、これからも学び続けます。



ウカサ まちの文化財 ①

千本楠 (吹上地域)

吹上地域宮内地区の、大汝牟遅神社の参道の東側に「千本楠」と呼ばれる大楠の森があります。大汝牟遅神社は吹上地域で最も大きな神社で、毎年11月23日に流鏝馬が奉納されることで知られています。

大楠は各地で見られますが、1ヶ所に十数本の大楠が集中しているのは珍しいことです。特徴的なのは、地を這うように横へ伸びる巨大な枝が多いことです。その様子は実に見事なもので、一見の価値があります。

伝説によると、大汝牟遅神社の祭神の大汝牟遅命が伊作の地に来られたときに、楠の杖を地面に刺したところ、これが根ついて親木になったとされています。その親木は幹の周りが18m余りもある大木でしたが、風も無い夜に大音響とともに倒れたと伝えられています。くちた根もとの一部が今も残っていて、かつての大きさをしのばせています。

明治43(1910)年の博覧会に出品した楠の切株を調べたところ、樹齢800年以上と推定されたそうです。



引用参考文献 『吹上町の文化財と神話・伝説』

Access

本庁から車で30分
吹上支所から車で3分

わたしの将来の夢は、かいごです。なぜかという、わたしの家にはおばあちゃんがあります。おばあちゃんといくと、とても楽しいし、昔の話や野菜の育てかたなどいろいろ



ゆめ & チャレンジ

『わたしの夢』

飯牟礼小学校五年

井上小夜香さん

ことを教えてください。去年、やはすの里に行ったとき、歌を歌いました。すると、おじいさんやおばあさんが、泣きながら喜んでくれました。その姿を見てわたしも、なみだが出るくらいとてもうれしかったです。そこで働くかおじいさんたちは、おじいさんやおばあさんたちにとってもやさしかったです。わたしもその人たちみたいになりたいなと思いましたが、わたしになれるかなと少し不安になりました。まだかいごになれるかわかりませんが、もしなれたらおじいさんやおばあさんの気持ちを覚えてやさしくしたいです。そのために、ふくしの本があつたら読んだり、家のおばあちゃんにもちろんですが、近所のおじいさんやおばあさんたちにもやさしい言葉をかけたりしようと思います。将来がとても楽しみです。

いきいき ひと

シリーズ①



「学校の転勤のたびに、その町の歴史や地域の伝統を調べたり、地元の人寄りの話を聞いたりしながら、まとめるのが趣味みたいなものでした」と、歴史や文化を専門的に学んだことはありませんが、いつしかそれがライフワークとなりました。「そこに暮らす人間の営みや風習、芸能など、生活のしくみを調べていくのが楽しい」と堂園さんの得意分野は民俗。若いうちから鹿児島民俗学会に所属し、これまで東市来町の文化財保護審議会委員長、あるいは東市来町郷土誌、町誌の発行に編さん委員として二度にわたって携わるなど、文化財行政に貢献してきました。

そればかりではありません。海軍で鍛えた水泳や小学校から習った剣道を独自の鍛錬で技術を向上させ、町の水泳教室の講師や日置地区体育大会の水泳・剣道の選手として活躍。また、鶴丸スポーツ少年団の指導者として長年、青少年健全育成にも尽力されるなど、まさに文武両道と呼ぶにふさわしい幅広い活動で年を重ねてきました。

最近、体調を崩し、昔みたいに自由に外出することも思うようにならなくなりましたが「まだ研究をしたいことはたくさんありますから、勉強は続けます。錦城流という詩吟流派の東市来支部長を務めている詩吟も続けていきます」とまだまだ現役、年齢を感じさせません。

三月に発刊されたばかりの東市来町誌にも「郷土の歴史にもっと関心を深めて、親しみをもってほしい。それが地域づくりにもつながるはず」と期待を寄せます。

歴史や文化、スポーツと幅広い活動に年輪を刻む



堂園 義光さん [82歳]

東市来町長里 (下養母上自治会)

小学校の教員を昭和59年に定年退職。合併まで約30年にわたって東市来町文化財保護審議会委員を務めたほか、昭和49年から53年まで東市来町郷土誌、平成13年から今年度まで東市来町誌の編さん委員。民生・児童委員も15年間務める。



上新連風斗くん (4歳8か月)

騎士ちゃん (4か月)

父 正史さん 母 久美子さん
(伊集院町徳重)

■おかあさんから
いつまでも兄弟なかよく、元気でやさしい子どもに育ってね。



福田 怜奈ちゃん (2歳2か月)

父 順一さん 母 智美さん
(伊集院町徳重)

■おかあさんから
いつまでもかわいい怜奈でいてね。

元気のあるお子さんの写真を募集しています。市内に在住の6歳以下のお子さん 氏名 生年月日 保護者氏名 お子さんの近況・お子さんへのコメント 広報へのご意見 連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課 住所は未定までお送りください。